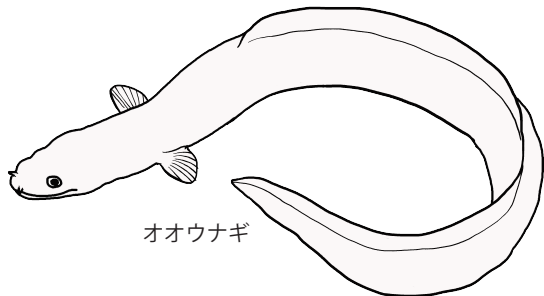
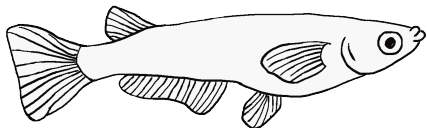


動物ワークシート

①魚のひれは、ひれそれぞれに異なる役割があり、それぞれのひれを上手く使って泳ぎます。胸ひれは、方向転換やその位置に留まることに使ったり、尾ひれは泳ぎ出す時の突進力に使ったりします。両種を見比べて、それぞれのひれをどんな風にするのか観察してみてください。

ミナミメダカ

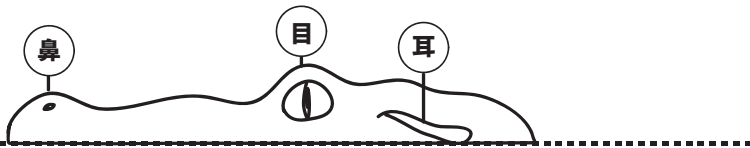


オオウナギ

②カバは、日中のほとんどの時間を水の中で過ごします。そのため、水の中にも周りを見渡せるような顔の形になっていて、鼻・目・耳が水面より上に出ています。



ワニの仲間や、カエルの仲間も同じ顔の形をしています。ワニやカエルも、水辺にくらす動物なので、カバ同様、水の中にも周りが見渡せる顔の形になっています。動物の姿かたちは、何かしらの意味を持っています。今の世の中ではまだ解明されていないこともあります。どうしてそんな姿かたちをしているのか、それぞれの動物でじっくり考えることも動物を楽しむ方のひとつです。



③ネコ科動物の毛色や模様は、非常に美しく多彩です。また、全身が同じ模様ではなく、顔と体でも模様が異なるので、いろいろな角度からじっくり観察してみてください。不規則で複雑な模様は、森でくらすネコ科動物にとっては「森の風景に溶けこんで、姿を隠すカモフラージュ」としての役割を持っているようです。

野生のツシヤマメネコでは、額（ひたい）の縦じまの模様などをもとに個体識別をして調査などをおこなっています。このように、種類ごとだけでなく、個体ごとでも少しずつ模様が異なります。

沖縄こどもの国で飼育しているネコ科動物は、ツシヤマメネコとジャガー以外に、アムールヤマメネコやライオンもいます、ぜひそちらも観察してみてください。

